

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3970100636
法人名	有限会社 ファクトリー
事業所名	グループホーム 朋楽
訪問調査日	平成20年9月24日
評価確定日	平成20年11月4日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3970100636
法人名	有限会社 ファクトリー
事業所名	グループホーム 朋楽
所在地 (電話番号)	高知市はりまや町3丁目16-8 (電話)088-878-8661

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年9月24日	評価確定日	平成20年11月4日

## 【情報提供票より】(平成20年9月1日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成15年12月20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 8人、非常勤 3人、常勤換算	9.4人

## (2)建物概要

建物形態	<input checked="" type="checkbox"/> 併設 <input type="checkbox"/> 単独	<input type="checkbox"/> 新築 <input checked="" type="checkbox"/> 改築
建物構造	鉄筋造り	
	3 階建ての	2 階 ~ 3 階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000~75,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円
敷金	<input checked="" type="checkbox"/> 家賃の2ヵ月分 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円) <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	600 円	おやつ 円
	または1日当たり	1,300円	

## (4)利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名	
要介護1	2 名	要介護2	3 名			
要介護3	2 名	要介護4	2 名			
要介護5	名	要支援2	名			
年齢	平均	82.7 歳	最低	76 歳	最高	88 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	くぼ歯科、植田医院
---------	-----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

高知市の中心街近くに位置し、建物1階にはアートセンターがあり障害児(者)の方の利用もある。地域との交流では、近くにある八幡様の週1回の清掃活動には利用者とともに参加し、八幡様の夏祭りに合わせて事業所として夏祭りを開催し、利用者の家族や地域の方の参加も得ている。また、毎週水曜日にはいきいき百歳体操を地域の方と一緒にやり、近所の一人暮らしの高齢者にはホームのお風呂を貸し出すなど事業所を地域に開放し、交流に取り組んでいる。利用者の表情も明るく、ホームが居心地が良い居場所となっていることが感じられ、今後より一層期待のもてるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題については、ほとんど改善に取り組んでいるが、理念についてはこれまでの理念に加え、現在事業所として地域を意識して取り組んでいる内容を盛り込んだ理念にすることが期待される。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員一人ひとりが自己評価を行い、その後計画作成者が取りまとめて作成している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2か月に1回家族、地域住民、町内会長、地域包括支援センター職員の参加を得て開催している。会議録からは、事業所からの報告が主であるが、参加者からの意見もあり双方向的な会議となっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	3か月に1回家族会を開き、比較的多くの家族が参加している。家族の訪問も1か月に1回以上の訪問があり、その都度意見や要望等聞くようにしている。しかし、「朋楽だより」を以前は2か月に1回発行していたが、今は発行できていない。今後は「新聞係り」をつくり発行していく予定にしておき、今後も家族へのきめ細かな対応の継続が望まれる。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	毎週月曜日には八幡様の清掃活動に利用者とともに参加し、毎週水曜日には地域の方々と一緒に「いきいき100歳体操・かみかみ100歳体操」を行い、その後で茶話会を開くなど地域との交流を図っている。また、近所の一人暮らしの高齢者にはホームのお風呂を貸し出し事業所を地域に開放するなど、地域と連携する取り組みを行っている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 理念はわかりやすい言葉で事業所独自のものを掲げている。また、地域との交流についても清掃活動や地域住民と一緒にいきいき100歳体操を行なっているが、理念のなかに地域密着型のサービスを踏まえた内容が謳われていない。	○	現在の地域との交流を踏まえて、更に地域と支え合う事業所として、何が大切か、何が求められているか職員と共に考え分かり易い言葉で地域に根ざした内容を理念に加味することが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 職員一人ひとりには理念はわかっているが、職員間で理念について話し合う機会があまり持っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。	○	理念はサービスを提供するうえで職員自身が常に意識すべき根本的な考えであるため、職員間で何を大切に利用者に向き合うかなど話し合いの機会をもち、意識づけすることが期待される。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 毎週月曜日には八幡様の清掃活動に利用者と共に参加し、毎週水曜日には地域の方々と一緒に「いきいき100歳体操・かみかみ100歳体操」を行い、その後で茶話会を開くなど地域との交流が図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 職員一人ひとりが自己評価を行い、その後計画作成者が取りまとめて作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回の課題については、改善シートを作成し取り組んでいる。できていない項目については、改善に向けて職員間で検討している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>2カ月に1回家族、地域住民、町内会長、地域包括支援センター職員の参加を得て開催している。会議録からは事業所からの報告が主であるが、参加者からの意見もあり双方向的な会議となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>今まではあまり交流は図っていない。今後は運営推進会議のメンバーでもある地域包括支援センターの方等に対して、事業を行っていく上で生じる運営やサービスの課題について相談するなど連携していく予定である。</p>	○	<p>今後は、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れ伝えるなど、事業所から積極的に連携を図ることが期待される。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>少なくとも1カ月に1回以上の家族の訪問があり、その際は必ず声をかけ、利用者の状況について報告するとともに家族からの意見も聞くようにしている。</p> <p><input type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>「朋楽だより」を以前は2カ月に1回発行していたが、今は発行できていない。今後は「新聞係り」をつくり発行していく予定にしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>金銭を預かっている利用者は出納帳をつけ、家族の来訪時に残高と領収書を確認してもらい、印をもらっている。</p>	○	<p>事業所の暮らしぶりやエピソードなど、また利用者一人ひとりの近況などを定期的に作成し家族に報告することが望まれる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会があり、また、事業所1階に意見箱を設置している。3カ月に1回の家族会の時や家族の来訪時には意見等を聞くようにしている。  <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。  苦情としては上がってないため記録としては残っていない。今後は、苦情・意見を受け付けた時に、課題の検討や対応した結果について記録するように様式を定め取り組むこととしている。	○	家族等から寄せられた意見・苦情等を運営に反映させていくためにも、様式を定め取組まれることについて今後の対応を期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。  開設5年目で管理者が5回変わっているが、これまでは管理者が計画作成者も兼ねていたものを、8月から管理者と計画作成者をそれぞれ配置するようにするなど、継続的に支える体制づくりに努力している。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。  職員が代わる場合は、退職による場合が主である。その場合、慣れるまで現在いる職員がきちんとフォローし、利用者や家族が不安にならないよう配慮しながら対応している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。  研修は運営規程に規定し、内部・外部研修に参加している。19年度には東京から講師を招き研修会を実施するなど、職員の研修機会は確保されている。  <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。  外部研修受講後は復命書をつくり、また、伝達研修を実施するなど職員間で共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。  高知県宅老所・グループホーム連絡会に加入している。  <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。  19年度には研修を企画し、同業者の事業所にも声かけするなど実施していたが、今年度は交流の機会は持っていない。	○	地域の同業者との交流・連携は、職員育成や地域全体としてのサービス水準の向上にもつながるので、ネットワークづくりや勉強会など継続して交流を持つことが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>入居前に本人と会い、心身の状況を把握するとともに家族等からも生活歴などを聞き、把握するようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>場合によっては1週間試しに体験してもらうなど本人や家族の意向を踏まえて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>法人本部の職員と管理者など複数で面接を行なっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>食事づくりでは、みそ汁や包丁を使わず手でちぎってできる野菜料理などを作ったり、また、洗濯物をたたむなど利用者ができることは一緒に行ない、共に支え合う関係づくりに留意している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>洗濯や入浴時など利用者と職員が一对一になる時にさりげなく話を傾聴するなど、利用者本人の思いを受け止め、共感と理解に努めている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>おやつ時の飲み物はいくつかある中から本人に決めてもらったり、読書好きな人は自室で楽しむなど自己選択を尊重しながら、日々のかかわりの中で声をかけ、把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族から情報を得ることはもちろん、日々のかかわりの中で利用者の表情や行動から読み取るようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 3カ月～6カ月毎に介護計画を見直し、必ず家族等から面談時や電話で意見、要望等を聞き、それが反映した介護計画を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 担当制で正・副2名体制をとっており、職員間で話し合い計画案を作成し、その後計画作成者(ケアマネ)と検討し作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 家族や主治医等の意見を聞きながら、3カ月又は6カ月毎に見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合は、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 調査当日も体調を崩し居室で点滴を受けている利用者があり、回復までは毎日往診に来ていただくなど医療機関と連携し、事業所で生活が継続できるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。 本人、家族等の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 基本的には協力病院の往診が月2回有り、それ以外で本人・家族が希望する医療機関への受診については家族が連れていっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 基本的には家族の方が連れていっているが、利用者の健康面で心配ごと等がある場合は職員も一緒に同行し、共に説明を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 受診結果は保管又は記録として残し、職員間でも共有している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>終末期に対する対応指針を定め、家族にも説明し、医師・看護師等とも話し合いを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>事業所で亡くなる前日まで看るなど、本人や家族の意向を踏まえ、医師等とも連携して取り組んでいる。</p>		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>職員から利用者に向けての言葉かけや語調は、プライバシーを損ねるものではなく、誘導についてもさりげなく言葉かけを行なうなど配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>内部研修の中でプライバシー侵害等について研修を実施するなどの取り組みを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>プライバシーの研修(個人情報の保護も含めた)を実施するなど取り組んでおり、また職員一人ひとり個人情報について意識しながら取り組んでいる。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>一人ひとりの体調に配慮しながら、買い物や散歩等柔軟に対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>居室で過ごしたい方には過ごしていただき、レクを行なう際には声をかけるなど、本人のペースを尊重している。</p>		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。  食事の準備から配膳、後片付けまで職員と利用者が一緒になって行なっている。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。  利用者同士話しをしながら、また職員も利用者と談笑しながら利用者と同じものを一緒に楽しく食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。  入浴時間は、基本的には午後から夕方にかけて行っているが、時間は区切っていない。ほとんどの利用者が毎日入浴している。  <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。  職員の声かけや入浴の順番をずらしたり、また職員が1～2名で対応するなどして、基本的には入浴している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  歌が好きな人はレクなどの時に一緒に歌ったり、散歩が好きな人は30～40分散歩に行き、その先でアイスクリームを食べるなど、楽しみや役割を見つけて支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。  できることできないことを見極めながら、できることについてはやってもらいながら自信をもってもらえるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 八幡様への参拝は毎日の散歩コースになっているほか、馴染みの喫茶店に行ったり、食事の買い出しなど職員と一緒にやっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的にやっている。 回数は元気な利用者に比べると少ないが、散歩等に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 日常的な散歩等はもちろん、季節毎にはバスレクで桜、あじさい、コスモスの花見に出かけるなど、外出を支援している。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 建物の1階入り口は防犯のため夜8時には施錠しているが、それ以外は居室もグループホーム2階の入り口も鍵はかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 利用者の外出の習慣を把握し、職員が見守りながら同行するなど対応している。 <input type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 事業所近くの商店は、現在は閉めている店が多いため、近所については八幡様の神官さんに声かけしているくらいで、地域との連絡関係はできていない。	○	地域との連絡体制については、地域特性もあると思われるが、運営推進会議のメンバーとして町内会長さんもおられるので、町内会の協力も得ながら地域との連絡関係強化に取り組まれることが期待される。
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 マニュアルを作成し、避難訓練は年2回夜間想定も含め実施しているが、地域住民が参加しての訓練はできていない。 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 消火器の定期点検は実施しており、非常用食料については、飲み水は給水タンクに3日分位備蓄があるが、すぐに食べることができる非常用食料は今後準備する予定である。	○	災害時に住民の協力は不可欠であり、避難訓練を地域住民の協力を得ながら実施することが期待される。また、非常用食料については、チェックリストが作成されているので、それを活用し準備されることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 食事や水分の摂取状況をチェックシートに記録し、職員間で共有している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>栄養バランスも考慮しながら1週間分のメニューを作成しているが、チラシ等を見ながら利用者の好みに合わせ急にメニューを変更するなど、柔軟に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>今までは行っていないが、今後は地域包括支援センターの保健師や栄養士に相談することを計画している。</p>	○	<p>今までは前管理者の知り合いの栄養士からレシ皮的なものをいただきそれを参考にしていたが、今後は事業所のメニューについて専門家にチェックしてもらうことを計画しているため、その実現を期待する。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>利用者のほとんどが共用空間で多くの時間を過ごされ、窓際には長いすを配置するなど居場所づくりに配慮している。また、室内を清潔に保ち、整理整頓している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。</p> <p>利用者の笑顔の写真があつたり飾り付けは家庭的な雰囲気壊すものではない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>季節に合わせて短冊を作って飾ったり、季節の花を飾るなど季節感に配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>それぞれの居室は利用者が家庭で使用していた馴染みの家具やベットを置くなど個性的で清潔感があり、居心地の良い空間づくりに取り組んでいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>家族の協力が得られない利用者はなく、本人の意向を確認しながらその人らしい居室づくりに取り組んでいる。</p>		